

「世界ジオパーク認定」を目ざして

～天草ジオパーク構想推進協議会設立～

御所浦町をはじめとする天草の地層を保全しながら、観光などを通して地域経済や教育文化の発展につなげるジオパーク（大地の遺産を活用した公園）の国際登録を目ざし、「天草ジオパーク構想推進協議会」（会長＝安田市長ほか委員14人）を4月23日に設立しました。あわせて行われた初会合では、10月に決定する「日本ジオパーク」の認定に向けて観光ボランティアガイドの育成や観光モデルコースの選定、案内板の設置などに取り組むことを確認しました。



▲ジオパークの認定に向けあいさつする安田市長

市民の防災意識の高揚を図る

～天草市総合防災訓練～

5月10日、「天草市総合防災訓練」を御所浦町の嵐口漁民グラウンドなどで実施し、市消防団員、地域住民など約400人が参加しました。訓練では、震度5強の地震が発生し、同町嵐口地区を中心に大規模な災害が起きたと想定。災害対策本部の設置や消火・救助などの訓練を行いました。

また、地震の揺れを体験できる「起震車」には多くの参加者が試乗し、予想以上の揺れに驚きながらも「地震が突然襲ってきても冷静に対処できれば」と話していました。



▲震度5の揺れを必死に耐える参加者

「棚底城跡」が市初の国指定史跡へ

～文化審議会が答申～

国の文化審議会は5月15日付けで、倉岳町棚底にある「棚底城跡」を史跡として指定するよう文部科学大臣に答申しました。今後、同大臣の告示により正式に史跡として指定される見通しで、市としては初の指定。

同城跡は戦国時代に、天草五人衆である上津浦氏と栖本氏との抗争の舞台となったことで知られており、14世紀後半から16世紀後半ごろの岩盤加工を施した城郭が県下に類を見ない例として高く評価されました。



▲上空から見る「棚底城跡」

「横浦島」と「通詞島」が『島の宝100景』に！

～島の宝100景選定～

このほど、横浦島（御所浦町）の「籠船」と通詞島（五和町）の「イルカが泳ぐ通詞島」が、『島の宝100景』に選定されました。

これは、国土交通省が、島の暮らしや人々の営みがわかり、「島の宝」として次世代に引き継いでいきたい、活かしていきたい景観を全国各地から募集したもので、547件の応募の中から選ばれました。いずれも、美しい自然や暮らしなどが息づく景観として、高い評価を受けたものです。



◀「籠船」



▶「イルカが泳ぐ通詞島」

生き生きふれあい輝くみらい

～輝き大会天草ブロック大会～

5/10
本渡

5月10日、「第16回輝き大会天草ブロック大会」（知的障がい者スポーツ大会）が稜南中学校グラウンドで行われました。同大会は、知的障がい者がスポーツを通して、心身の発達と健康の維持や増進を図ることなどを目的に実施しているもので、選手や保護者など約1,000人が参加しました。当日は、初夏のような日ざしの中、徒競走やこうち競走などで熱戦が繰り広げられ、応援席からは大きな歓声があがり、温かい声援や拍手が送られていました。



▲ゴール直前まで熱戦を繰り広げる選手たち



▲鮮やかに色づくマンゴーを収穫する山下さん

期待の天草ブランド品がお目見え！

～マンゴーの収穫始まる～

5/11
牛深

5月11日、久玉町にある山下亀男さん（二浦町亀浦）所有のマンゴー園で、市が特産化を進めるマンゴーの収穫が始まりました。同園には、250本のマンゴーの木に約7,000個の果実がたわわに実をつけ、完熟を示す枝からの落下をわれ先にと急いでいるようでした。鮮やかな赤に色づいた果実に触れながら山下さんは、「今年は例年に比べ量、質ともに良い出来」と満足そうに話していました。収穫は6月にピークを迎え、主に東京・大阪方面などに出荷されます。

学校の安全を協力して守ろう！

～御所浦小学校・不審者対策訓練～

5/12
御所浦

5月12日、御所浦小学校で「不審者対策訓練」が行われました。これは、不審者が校内に侵入した際のいざというときのため、立ち向かう教職員の対応や、児童たちの安全確保などを学ぶもので、毎年実施しています。訓練は、同校4年生の教室に不審者が侵入したと想定。御所浦駐在所の押方警部指導のもと、さすまたを使った不審者の押さえ込み方や避難方法などの訓練を行い、参加した児童たちは真剣なまなざしで取り組んでいました。



▲さすまたで不審者を押さえ込むようす

火遊びは絶対しません！

～赤崎保育所幼年消防クラブ入部式～

5/13
有明

5月13日、赤崎保育所で「幼年消防クラブ入部式」が行われました。今年度入部したのは同保育所の全園児26人。式では、同クラブを代表して宮本陽向さんと園田竜士くんが「火遊びは絶対しません。お父さん、お母さんの教えを正しく守ります。礼儀正しく素直な子どもになります」と元気よく防火の誓いを宣誓。その後、中央消防署有明分署の協力で園児らによる放水訓練や、保護者を対象とした消火器の取り扱い方の説明などが行われました。



▲放水訓練を披露する園児たち